

週間市場レポート (2020年11月16日~11月20日)

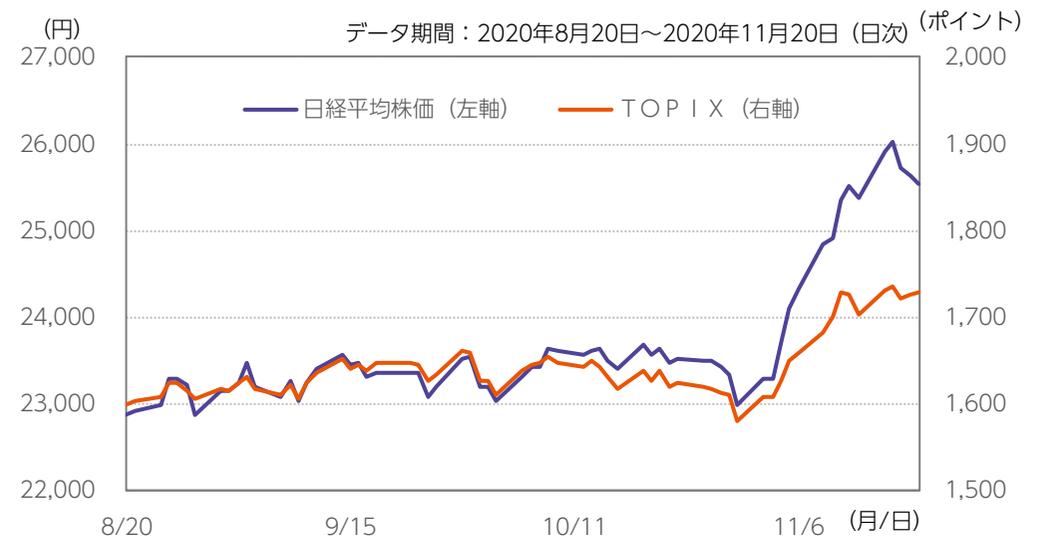
1) 先週の市場動向

指数名	国	前週末 2020/11/13	先週末 2020/11/20	前週末比 (%)
日経平均株価 (円)		25,385.87	25,527.37	0.56 ↗
TOPIX (東証株価指数)		1,703.22	1,727.39	1.42 ↗
ダウ工業株30種平均 (ドル)		29,479.81	29,263.48	▲0.73 ↘
S&P500種指数		3,585.15	3,557.54	▲0.77 ↘
ユーロ・ストックス50指数		3,432.07	3,467.60	1.04 ↗
S&P/ASX300指数		6,382.17	6,514.68	2.08 ↗
上海総合指数		3,310.10	3,377.73	2.04 ↗
MSCI AC アジア (除く日本)※		949.24	965.25	1.69 ↗
東証REIT指数		1,696.20	1,680.09	▲0.95 ↘
FTSE NAREIT All-Equity REIT 指数		715.43	708.01	▲1.04 ↘
ASX300 REIT 指数		1,437.10	1,448.10	0.77 ↗
グローバルREIT (除く日本)※		170.80	170.49	▲0.18 ↘
日本10年国債 (%)		0.025	0.012	▲0.013 ↘
米国10年国債 (%)		0.896	0.824	▲0.072 ↘
ドイツ10年国債 (%)		▲0.547	▲0.583	▲0.036 ↘
英国10年国債 (%)		0.338	0.302	▲0.036 ↘
ドル/円		104.63	103.86	▲0.74 ↘
ユーロ/円		123.85	123.16	▲0.56 ↘
英ポンド/円		138.03	137.85	▲0.13 ↘
豪ドル/円		76.07	75.85	▲0.29 ↘
フィラデルフィア半導体指数		2,508.82	2,555.50	1.86 ↗
WTI原油先物 (ドル)		40.13	42.15	5.03 ↗
CRB 指数		151.86	156.16	2.84 ↗
アレリアンMLP指数		730.55	786.03	7.59 ↗

2) 日本の株式・債券市場

≪ 株式 ≫

日本株式市場（日経平均株価）は、前週末比で小幅に上昇となりました。新型コロナウイルスのワクチン開発期待から、前週から引き続き上昇となり、17日（火）の終値は1991年5月14日以来、約29年半ぶりに26,000円を超えました。その後は、全国の1日当り新規感染者数が最多を更新するなど、国内における感染急拡大により景気下押しリスクが意識されたことから、週末まで主力株を中心に売りが優勢となりました。



出所) ブルームバーグのデータをもとにニッセイアセットマネジメント作成
 ※現地通貨ベース * ▲はマイナスを表します。

《 債券 》

日本債券市場（10年国債金利）は、前週末比で横ばいとなりました。週前半は、日経平均株価の上昇を受け、相対的に安全資産とされる債券は売りが優勢（利回りは上昇）となったものの、週末にかけては感染再拡大による国内外の景気後退懸念から、買いが優勢となりました（利回りは低下）。



3) 米国の株式市場

《 株式 》

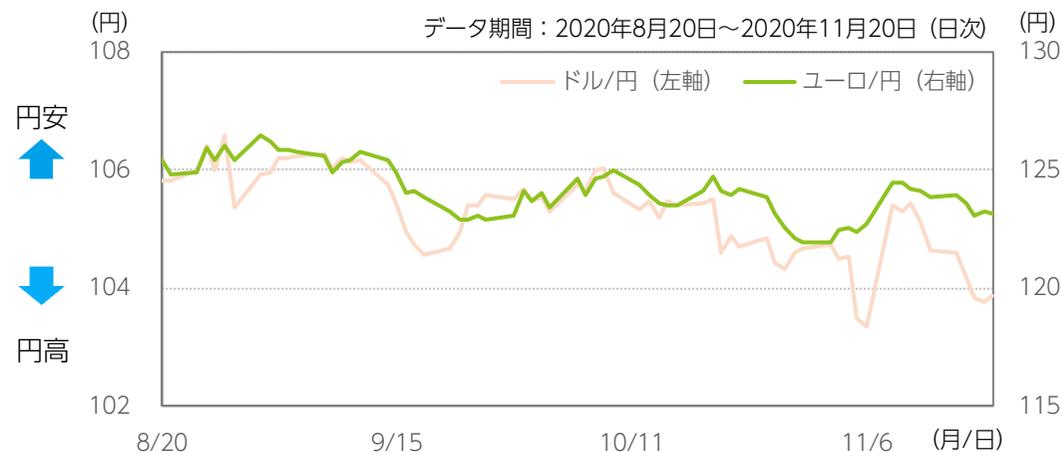
米国株式市場（NYダウ）は前週末比で下落となりました。ワクチン開発進展に関する続報を受け、週初は上昇となりました。その後は、小売売上高が市場予想を下回る結果となったことや、感染再拡大により各州が再び経済活動を制限したことなどから、米国景気の回復鈍化が意識され、週末にかけて売りが優勢となりました。



出所) ブルームバーグのデータをもとにニッセイアセットマネジメント作成

4) 外国為替市場

米ドル/円相場は、前週末比で円高米ドル安となりました。世界的な感染再拡大で、経済活動の制限による景気下押し懸念が強まるなか、相対的に低リスク通貨とされる円は、週を通じて買いが優勢となりました。



5) 今週の見通しについて

先週の米国株式市場は、ワクチン開発の続報が好感されたものの、米国内での感染再拡大による景気先行き懸念から、前週末比で下落となりました。

足元では、米国での新規感染者数が増えています。ニューヨーク州が屋内営業を制限するなど、各州が再び経済活動を制限していることから、米国景気の回復の停滞懸念が強まっています。一方、米大手製薬会社に続き、英大手製薬会社もワクチンの有効性を公表しています。米大手バイオ企業も数週間以内に米当局に使用許可を申請する見込みであり、ワクチンの開発や普及への期待が高まっています。

今週の株式市場は、引き続き世界的な感染者数の急増による景気後退懸念の強まりから下落する場面も予想されるものの、ワクチンの早期普及や治療薬の開発進展期待などから、上昇するものと見込みます。

【当資料に関する留意点】

- 当資料は、市場環境に関する情報の提供を目的として、ニッセイアセットマネジメントが作成したものであり、特定の有価証券等の勧誘を目的とするものではありません。また、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。実際の投資等に係る最終的な決定はご自身で判断してください。
- 当資料は、信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。
- 当資料の内容は作成時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。
- 当資料のいかなる内容も将来の市場環境等を保証するものではありません。
- 当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。
- 当資料に投資信託のグラフ・数値等が記載される場合、それらはあくまでも過去の実績またはシミュレーションであり、将来の投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。また税金・手数料等を考慮しておりませんので、実質的な投資成果を示すものではありません。
- 投資信託は投資する有価証券の価格の変動等により損失を生じるおそれがあります。
- 投資信託の手数料や報酬等の種類ごとの金額及びその合計額については、具体的な商品を勧誘するものではないので、表示することができません。

<設定・運用>

**ニッセイアセットマネジメント株式会社**

商号等：ニッセイアセットマネジメント株式会社

金融商品取引業者

関東財務局長（金商）第369号

加入協会：一般社団法人投資信託協会

一般社団法人日本投資顧問業協会

ニッセイアセットマネジメント株式会社

コールセンター 0120 - 762 - 506（受付時間：営業日の午前9時～午後5時）

ホームページ <https://www.nam.co.jp/>